

ガソリン携行缶使用時の**重要なお知らせ！**

ガソリンは揮発性が高く、小さな火源でも引火、爆発する危険物です！！

※取扱説明書をよく読み、安全に正しく使用してください。

ガソリン携行缶に、ガソリンを給油するときの注意！

- 缶本体、キャップ、エア調整ネジ、パッキンに異常がないか、確認してください。
- セルフスタンドでは、所有者自ら給油することはできません。
- 容量以上のガソリンを、給油しないでください。必ず、規定容量5L以内で給油してください。
- ガソリンの他、軽油、灯油を給油することができますが、他の燃料や液体を給油することはできません。
- 給油後は、キャップとエア調整ネジを確実に締め付け、ガソリンが漏れないことを確認してください。

車などに、ガソリンを給油するときの注意！

- ガソリンは、非常に危険な液体です。取り扱いには十分注意し、必ず周囲の安全を確認してください。
- 必ず、エア調整ネジを緩めてから、キャップを開けてください。この際、給油口を上向きにし、平らな地面に置いてください。
- エア調整ネジを緩めるときは、火気厳禁とし静電気にも十分注意してください。
- こぼしたり、人体に付着しないよう、慎重に給油してください。
- 車、発電機や草刈機などにガソリンを給油するときは、必ずエンジンを停止してください。

ガソリン携行缶を運搬、保管するときの注意！

- 缶内にガソリンを入れて車などで移動するときは、ポリエチレンの袋に入れ、受皿に置いてください。
- トラックの荷台に載せて移動するときは、すべり止めマットなどを利用し、缶を置いた受皿が動かないようにしてください。
- ガソリンも劣化するため、ガソリンを缶内に長期保管しないでください。
- ガソリンに含まれる水分により、缶内がサビる恐れがあるので、ガソリンを長期保管しないでください。
- ガソリンは揮発性が高く、内圧を変化させ缶を变形させる恐れがあるので、少量のガソリンが残った場合は、ウエスなどで取り除いてください。

ガソリン携行缶で給油するときは**火気厳禁！**

ガソリン噴出注意！

- 周囲の安全をよく確認！ ●キャップを開ける前にエンジン停止！
- キャップを開ける前にエア抜きをする！ ●直射日光下、高温な場所厳禁！

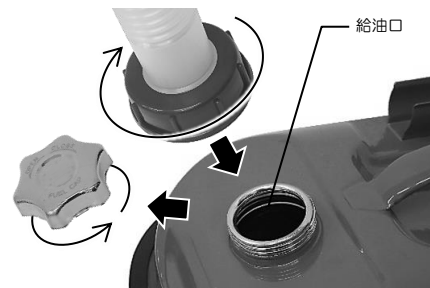
①. 平らな地面に置き静電気を逃がす。



②. エア調整ネジをゆっくりと緩める。



③. キャップを外しノズルを取り付ける。



④. エア調整ネジを締め少しずつ給油する。



⑤. 流量を見ながらエア調整ネジを少しずつ緩める。



⑥. 給油後は、キャップとエア調整ネジを確実に締め付ける。



株式会社 **ワールドツール**
〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909-50(TEL:048-501-7871)

商品の問い合わせ先
カスタマーサービス
(月～土 10:00～19:00)

048-501-7873